

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2395700335
事業所名	グループホーム海糸(うみと)

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し、地域情報を回覧板で得て区の祭礼に出かけたりしている。食材の買い物や馴染みの団子屋さん、お弁当を持ってお花見に出かけ地域の方々と交流を図っている。傾聴や琴演奏のボランティア、大学や中学生の職場体験の受け入れを再開したり、利用者が町の福祉敬老フェアでのブース出展では作品を展示したり、「お菓子釣り」ゲームで子どもから高齢者まで多くの参加者と楽しいひと時を過ごし、地域とのつながりを大切にした支援に取り組んでいる。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 役場の職員、民生委員、家族、利用者、社協等が参加し年6回対面で開催している。事業所の状況、日常の様子、行事の報告や予定を報告している。避難訓練を組み入れて避難誘導法の問題点が抽出できたり、協力医療機関の変更を伝える際には地域住民の参加もあった。会議参加者には議事録を送付している。来年度は町内会の方にも参加を呼びかけたいと考えている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 役場担当者とは書類の提出時に出向き、電話やメールでの日常の報告や連絡で協力関係が築かれており何かあれば相談できる体制にある。また、地域包括支援センターとは認知症部会で認知症家族の会へ開催側として参加し、6年度には事業所でも年1回実施を予定している。また、今年3月末の南知多町行方不明者捜索訓練には利用者と参加したいと考えている。講習や研修会の案内を見て内容に応じてオンラインで参加している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者・家族等意見の反映（外部評価項目：6） 面会時に日常の様子を伝えながら意見や要望を聞き取るようにしている。メールやLINEでも写真付きで情報交換している。内容は職員間で共有しサービス向上に努めており、面会制限解除も家族からの要望で実現した。ほぼ2カ月ごとに行事や日常の様子がわかる「よつ葉・海糸通信」が作成され家族に送付している。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	—	—	○	○							

備考欄

--